



## チバソム主催のチャリティーガラディナー

「WELLNESS JOURNEY FUNDRAISING GALA DINNER」の開催決定

ミシュランスターシェフのダン・バーク氏とのコラボディナーで  
ホアヒン唯一のマンガローブの森「クライラー・ニウエー」の保全を支援



シェフ・ダン・バーク & シェフ・シンチャイ・スリーウィパー

2019年10月

タイ・ホアヒンに位置する**チバソム・インターナショナル・ヘルスリゾート**は、2019年12月1日に、同地区に唯一現存するマンガローブの森「クライラー・ニウエー」(Krailart Niwate)の保全を目的として、チャリティーガラディナー「**Wellness Journey Fundraising Gala Dinner**」を初開催します。マンガローブの森の保全は、チバソムが取り組んでいる環境保護に関するウェルネスプロジェクトの一つです。至極のウェルネス・キュージーヌを楽しめる8皿のコース料理に、厳選4種のワインペアリングが付いたディナーチケットは、10,000バーツよりお買い求めいただけます。

本ガラディナーでは、チバソムのエグゼクティブ・シェフ、シンチャイ・スリーウィパーが、バンコクの「アップステアーズ・アット・ミッケラー」のミシュランスターシェフ、ダン・バーク氏とコラボし、一夜限りの特別なメニューを披露します。2名のシェフならではのセンスと洗練された技により、上質で栄養豊富なローカル食材を至極の逸品へと昇華させ、華やかな美食の旅へゲストをお連れします。

ディナーチケットの収益金は、クライラー・ニウエーに全額寄付されます。また、当日参加できないゲストのために、2019年12月1日まで寄付金を受け付けます。3000バーツ以上の寄付に対し、クライラー・ニウエーのチャリティー限定スカーフを贈呈します。

さらに、ガラディナーの翌日、2019年12月2日には、シェフ・ダンが、チバソムのゲストのために特別な「ウェルネス・メニュー」をご用意します。



改装後のテイスト・オブ・サイアム



ガラディナーで提供されるメニュー



クライラー・ニウエーのマングローブの森

本コラボ企画に熱意を燃やすシェフ・ダンは、関心を深めるウェルネス・キュイジーヌのコンセプトについて、次のように述べています。「ウェルネス・キュイジーヌの解釈と評価が不明瞭なケースが多い中、シェフ・シンチャイが率いるチバソムのキッチンチームは、世界に向けてこれが最も楽しい食事体験の一つであることを証明してきました。彼らは常に革新的な美味しいメニューでゲストを驚かせます。私のモダンフュージョン料理は、新鮮で栄養豊富な食材を活かしたスタイルが特徴で、シェフ・シンチャイと私が共通している点です。さらに、私はサスティナビリティの強力な支持者であり、多大な努力を重ねてきたチバソムのチームとのコラボに興奮を隠しきれません。」

シェフ・シンチャイは、シェフ・ダンとのパートナーシップから生まれるシナジーについて、次の通り述べています。「シェフ・ダンは、新しい世代を代表する才能にあふれたシェフです。ミシュランスターが授与されたことも、それを証明しています。彼は新しい調理テクニックを積極的に取り入れています。本企画は、ウェルネスにインスパイアされたチバソムのキュイジーヌが、彼の多彩なテクニックによってさらに進化する素晴らしい機会になるでしょう。チバソムではサスティナビリティを重視し、ガラディナーでも新鮮なローカル食材をふんだんに使用します。」

チバソムの総支配人のワイパンヤー・コンクワンユーンは、「このチャリティーガラディナーは、チバソムの2年にわたる大規模改修の最終フェーズを祝う場でもあります。シェフ・シンチャイとシェフ・ダンによる革新的なウェルネス・キュイジーヌはもちろん、「テイスト・オブ・サイアム」レストランの新しい姿もお楽しみいただけるでしょう。大規模改修最後の対象施設である本レストランは、2019年10月中に改修工事を終える予定です。」とコメントしています。

2013年に開始されたクライラー・ニウエーのマングローブの森の保全プロジェクトは、ホアヒン保護活動グループ（プリザーブ・ホアヒン・グループ）が行う環境保護に関するウェルネスプロジェクトの一つです。チバソムの会長兼CEO、クリップ・ロジャナスティンが指揮を執るホアヒン保護活動は、マハ・チャクリ・シリントーン王女の後援を受けています。カオ・クライラー寺院エリアに位置するクライラー・ニウエーは、ホアヒンに唯一残るマングローブの森です。

ガラディナーに関する予約、お問い合わせは、メール [reservation@chivasom.com](mailto:reservation@chivasom.com) または電話+66 32 536 536 にてご連絡ください。



## チバソムについて

チバソムはアジア初の総合的なウェルネス・リトリート&デスティネーション・スパであり、理想のウェルネスを手に入れるそのアプローチは高く評価されています。閑静な7エーカーの土地に立つビーチフロントのチバソムは、「人生の安息地（ヘイブン・オブ・ライフ）」として、ロゴマークに表現されているマインド、ボディ、スピリットの3分野を活性化させるヘルス&ウェルネス・リゾートです。西洋の方式と東洋の哲学を合わせたデスティネーション・リゾートとして、ゲストに健康的な習慣とライフスタイルをもたらすための様々なサービスを提供しています。チバソムは22年前のオープン以来、世界最高のヘルス&ウェルネス・リゾートとして様々な受賞に輝いてきました。リゾートでは、オペレーションの全レベルにおいて世界最高基準の環境保全に努めていると認められ、名誉あるグリーン・グローバル認証を受けることができました。リゾートはオープン以来、倫理的かつ持続可能な運営を心掛けており、リゾートの献身的なCSRチームは、エネルギー効率や節電、汚水処理や再利用、節水、ごみ削減やリサイクル活動、大気管理、環境にやさしい製品利用等、数々のイニシアチブ、政策、活動を実施してきました。

最近受賞した賞のご紹介：

- ❖ 「海岸沿い事業 / 運営部門のベスト」  
(トラベルデイリー、トラベル&ツーリズム・サステナビリティ・アワード 2019) [オーストラリア]
- ❖ 「ベストスパ第1位」  
(トラベラーズ・ワールドマガジン 2018) [ドイツ]
- ❖ 「トップ20 デスティネーションスパ、アジアのトップ」  
(コンデナスト・トラベラー・リーダーズ・トラベル・アワード 2018) [UK]
- ❖ 「トップ5 お気に入りデスティネーションスパ」  
(コンデナスト・トラベラー・リーダーズ・トラベル・アワード 2018) [インド]
- ❖ 「タイのベストウェルネス・リトリート 2018」  
(ワールド・スパアワード 2018) [UK]
- ❖ 「ベスト100 スパ・リスト、アジア 25 軒中 13 位」  
(コンデナスト・トラベラー) [中国]
- ❖ 「グリーン・エラ・フォア・サステナビリティ・アワード」  
(アザーウェイズ・アソシエーション・マネージメント&コンサルティング・アワード 2017)
- ❖ 「メディ・スパ・オブ・イヤー」  
(アジア・スパ・アワード 2017)
- ❖ 「アウトスタンディング・ウェルネス・スパ・デスティネーション・イン・タイランド」  
(アジア・ライフスタイル・ツーリズム・アワード 2017)
- ❖ 「トップ6・オブ・ザ・ベスト・オーバーシーズ・ラグジュアリー・ヘルス&ウェルネス・プロパティ 2017 (第2位)」  
(ラグジュアリー・トラベル・アワード) [オーストラリア]
- ❖ 「2017 ベスト・グローバル・ウェルネスリゾート」  
(スパ・チャイナ・アワード)

バンコクの南185キロ、ホアヒンのビーチフロント・ロケーションに立つチバソムは首都バンコクから車で3時間、プライベートジェットで25分、チャーターヘリで40分の距離に位置します。

チバソムの詳細は [www.chivasom.com/language/jp/](http://www.chivasom.com/language/jp/) (日本語) をご覧ください。

ご予約・お問い合わせ：

チバソム・コンシューマーサービス 03-3403-5355 / [c\\_service@kentosnetwork.co.jp](mailto:c_service@kentosnetwork.co.jp)



## クライラー・ニウェーについて

マングローブの森は、魚、蟹、貝、海老に棲家を与え、鳥や猿に餌場を提供します。しかし、過去半世紀の間に、商業的開発や海老の養殖、そして塩田の拡大により、世界中で急速に減少しています。クライラー・ニウェーはマングローブの森を保全する公園であり、チバソムの会長兼CEO、クリップ・ロジャナスティンが指揮を執る環境保護に関するウェルネスプロジェクトの一つです。マングローブの森の保全を含むホアヒン保護活動は、マハ・チャクリ・シリントーン王女の後援を受けており、ヘルスリゾートとして世界的に高い評価を受けているチバソムが積極的に推進しています。

チバソムは、2007年からホアヒンに唯一残るマングローブの森の管理人となり、様々な関係団体と協力しながら5000本以上の植樹を実現し、森の再生に取り組んできました。2015年には、1000メートルにわたる高台の遊歩道の資金援助を行いました。マングローブの生態系を観察できる環境の整備により、地球環境に重要な役割を果たしているマングローブ生態系に対する理解を広め、同地域内のエコ・スピリチュアル・ツーリズムの発展に寄与することを目的としています。

保全活動は、ホアヒンの市街地近郊に唯一残るマングローブ生態系を守り、科学的理解と知識を深め、自然環境を大切にすることを意識の向上を目的としています。再建された湿地帯は、一般の人々が豊かな自然環境の中でウォーキングやランニングを楽しんだり、のんびり休憩したりしながら、マングローブ生態系を身近に体験できる場所を提供します。